

富山県
第1区

令和3年10月31日執行 衆議院小選挙区選出議員選挙公報 富山県選挙管理委員会

命と暮らしを最優先にする政治へ

- ・臨時医療施設の設置を促進し、入院が必要な人がすべて入院できる環境を実現します。
- ・低所得世帯や収入が大幅に減収した世帯等に一人10万円を給付します。
- ・新たな持続化給付金の給付、家賃支援給付金の再支給を迅速に行います。

貧困と格差をなくす政治へ

- ・年収1,000万円程度以下の所得税を実質免除し、低所得者には給付金を支給します。
- ・消費税を時限的に5%へ引き下げます。
- ・労働者派遣法を見直すなど、正規雇用で働ける社会をめざします。

☆財源は、富裕層や超大企業への優遇税制の是正で捻出します。



立憲民主党公認

西尾まさえい

変えよう。

あなたが主役の新しい政治へ

子どもたちが希望の持てる政治へ

- ・子育て予算を倍増し、出産育児一時金引き上げ、出産費用無償化、待機児童・隠れ待機児童の解消など、子育て支援を抜本的に拡充します。
- ・児童手当の所得制限の撤廃と高校卒業年次まで対象を拡大します。
- ・義務教育の学校給食を無償化します。

国民から信頼され、安心できる政治へ

- ・農業者の戸別所得補償制度の復活など農業支援を強化し、食料自給率向上など「食の安全保障」確立をめざします。
- ・「SDGs推進基本法」を制定し、気候変動など地球規模の課題に取り組むとともに、地産地消を軸とした「自然エネルギー」立国を推進します。
- ・森友・加計疑惑と公文書改ざん、日本学術会議委員の任命拒否などの「闇」を徹底説明します。

【プロフィール】
西尾(にしお)まさえい 1961年6月5日生まれ。
舟見小・中、富山中部高校、慶應義塾大学法学部卒、金沢大学大学院法務研究科修了。富山県職員、衆議院議員岩国哲人政策秘書、金沢星稜大学講師などを歴任。

比例区は **立憲民主党** へ

01 フミノミクス

「財政政策・金融政策・構造改革」の3つで、日本をもう一度経済成長させ、みなさんの所得を上昇させることを目指します。

02 チャレンジできる環境に変えていく

女性が自分のやりたいことをできる富山に、若い人がチャレンジできる富山に。今、活躍できていない人がチャレンジできる環境を作ることが政治家の仕事です。

03 仕組みを変えて、フェアでシンプルに

仕組みの一つ、税制を消費喚起と経済成長を重視する税制へ転換します。長期低迷とコロナ禍を打破するため、2年(目安)に期間を限定した消費税5%への引き下げを断行します。(恒常的には8%)引き下げ期間終了については経済状況を考慮し、将来的な地方税化と税制改革を合わせて検討します。

所得アップで
チャレンジできる未来へ



日本維新の会

吉田豊史

よしだ

とよふみ

イネ自の政治めざします。

【プロフィール】

昭和45年4月10日富山市石金に生まれる。富山市消防団東部分団、団員。早稲田大学法学部 卒業。大学卒業後、富山へ戻り、硝子メーカーへ就職。起業を決意し サラリーマンを辞し、県議2期目となる父の選挙を手伝う。その後、有限会社を立ち上げEST CAFE、豆腐製造を手がける。熱い志を胸に政界へ進出。平成19年4月、富山県議会議員選挙にて初当選。平成26年、衆議院議員総選挙に富山県第1区より出馬、比例復活にて当選を経て、今年令和3年4月の富山市長選に出馬。

【国会での活動実績】

衆議院議員(2014~2017年)
・安倍首相(当時)との予算委員会質疑(NHK放送)
・菅官房長官(当時)との平和安全特別委員会質疑
・麻生財務大臣(当時)との財務金融委員会質疑
・稲田防衛大臣(当時)との安全保障委員会質疑

“私が本当に信頼する政治家です”

現大阪府知事
吉村 洋文

吉田豊史選挙事務所

住所：富山市一番町4-9

TEL

080-8405-6430

FAX

076-495-6623



令和3年10月31日執行
富山県第1区 衆議院小選挙区選出議員選挙公報
 富山県選挙管理委員会

たばねる、こたえる。

とやまの地から、次世代の日本を創る。

私は政治の世界に身を置いて19年間、一貫して自由民主党の一員として政治活動を行ってきました。皆さんの声を国政に届けるため、富山の発展のため、初心忘るべからずの精神で職務に邁進してまいりました。私は総務副大臣として、より善き地域社会を創るため走り続けます。日本の未来、富山の未来を私に託してください！



たばた裕明のコロナ対策と7つの政策ビジョン

コロナ対策 国産治療薬の早期開発にくすりの富山の潜在力を！
 ●ワクチン・検査パッケージの推進
 ●国産治療薬の開発と安定供給実現
 ●在宅含むコロナ療養体制再点検

4 人・イノベーションへの投資を強化！
 ●次世代人材向けの教育環境を
 ●科学技術等を支える人材育成
 ●外国人材の適正な受け入れほか

5 子ども・若者育成支援を強力に推進！
 ●妊娠から子育てまで一貫支援
 ●ひきこもり支援の充実・拡充
 ●世代を超えた貧困連鎖の解消ほか

6 地域社会を振興し地元富山を元気に！
 ●農林水産業の活力創造プラン
 ●観光スポーツ文化振興の支援
 ●循環型グリーン経済の実現ほか

7 防災や安全保障で安心安全な生活を！
 ●防災・減災・国土強靱化の推進
 ●消防団等の地域防災力の強化
 ●日米同盟によるアジア安全保障ほか

1 WITHコロナ時代のデジタル化を加速！
 ●地方での5G環境整備の加速化
 ●リモートワーク等で地方移住を
 ●行政サービスのデジタル化推進ほか

2 新たな働き方改革で活力ある日本経済を！
 ●国民所得が増える施策の推進
 ●誰もが活躍できる働き方改革
 ●職業訓練や副業・兼業の支援ほか

3 誰もが安心できる全世代型社会保障を！
 ●安心して暮らせる地域共生推進
 ●障がいや難病を持つ人の支援
 ●医療介護分野のデータ利活用ほか

たばた裕明 (たばた・ひろあき) プロフィール
 昭和48年1月2日富山市生まれ。富山県立富山東高等学校、獨協大学経済学部卒業。株式会社富山第一銀行での7年間の勤務を経て平成15年富山市議会議員に初当選。平成23年富山県議会議員を経て、平成24年第46回衆議院議員選挙に初当選し、連続3期当選。

内閣での役職
 平成29年8月～平成30年10月 厚生労働大臣政務官
 令和3年10月6日～現在 総務副大臣

LINE登録はこちら →



比例代表も自民党へ

自民党公認

総務副大臣
たばた裕明
 ひろあき
 48歳

市民と野党が力をあわせ

政権交代

野党連合政権を

政権交代に全力つくし、新しい政権を支えます。
 プレずに共闘つらぬく私へ1票を。

政治をかえる
4つのチェンジ!

①いのちと暮らし最優先の政治にチェンジ

病床削減計画の撤回。医療・介護・保育など、ケア労働者の待遇改善。75歳以上の医療費2割化中止。最低賃金を1,500円に。消費税は5%に減税。

②気候危機打開へ

2030年までにCO₂最大60%削減
 エネルギー消費量を40%削減。再生可能エネルギーを50%にアップ。石炭火力や原発ゼロへ。脱炭素、省エネ、再エネで雇用・経済を拡大。

③ジェンダー平等

男女賃金格差の解消。
 選択的夫婦別姓の実現。性暴力の根絶。

④憲法9条生かした平和外交で

核兵器禁止条約に署名・批准。
 沖縄の辺野古新基地建設の中止。
 中国の国際法違反に毅然とした外交を。

自由と民主主義、個性と人権を大切に

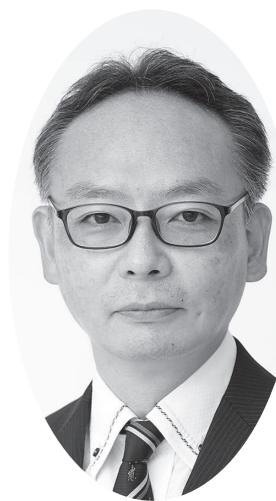
「共産党」の名前の原語は「コミュニティ」「共同」。めざす社会は個性と人権を何よりも大切にする社会です。旧ソ連や中国とはまったく無縁です。



青山りょうすけ Twitter

比例代表は

企業・団体献金を受け取らず清潔。
 「モリ・カケ・桜」も「政治とカネ」も徹底追及。
日本共産党 とお書きください。



日本共産党

あおやま
青山りょうすけ

46歳

富山県委員会 新型コロナ対策本部 事務局長
 「若者が希望と安心を抱ける社会をめざし、コロナで苦しむ若者への食糧支援など、青年たちと取り組んできました。」

令和3年10月31日執行

富山県
第2区

衆議院小選挙区選出議員選挙公報

富山県選挙管理委員会

命と暮らしを最優先にする政治へ

- ・臨時医療施設の設置を促進し、入院が必要な人がすべて入院できる環境を実現します。
- ・低所得世帯や収入が大幅に減収した世帯等に一人10万円を給付します。
- ・新たな持続化給付金の給付、家賃支援給付金の再支給を迅速に行います。

貧困と格差をなくす政治へ

- ・年収1,000万円程度以下の所得税を実質免除し、低所得者には給付金を支給します。
- ・消費税を時限的に5%へ引き下げます。
- ・労働者派遣法を見直すなど、正規雇用で働ける社会をめざします。

☆財源は、富裕層や超大企業への優遇税制の是正で捻出します。



立憲民主党公認

こしかわ康晴

変えよう。

あなたが主役の新しい政治へ

子どもたちが希望の持てる政治へ

- ・子育て予算を倍増し、出産育児一時金引き上げ、出産費用無償化、待機児童・隠れ待機児童の解消など、子育て支援を抜本的に拡充します。
- ・児童手当の所得制限の撤廃と高校卒業年次まで対象を拡大します。
- ・義務教育の学校給食を無償化します。

国民から信頼され、安心できる政治へ

- ・農業者の戸別所得補償制度の復活など農業支援を強化し、食料自給率向上など「食の安全保障」確立をめざします。
- ・[SDGs推進基本法]を制定し、気候変動など地球規模の課題に取り組むとともに、地産地消を軸とした「自然エネルギー」立国を推進します。
- ・森友・加計疑惑と公文書改ざん、日本学術会議委員の任命拒否などの「闇」を徹底説明します。

こしかわ康晴プロフィール

1964年(S39)3月30日生まれ(57歳)
 1979年3月 魚津西部中学校卒業
 1982年3月 富山中部高等学校卒業
 1987年3月 慶應義塾大学文学部史学科卒業
 1987年4月～2021年5月 サッポロビール株式会社勤務

比例区は 立憲民主党へ

明日のために! 未来のために!

1 教育が未来を拓く!

教育環境の整備、GIGAスクール構想の推進、ものづくりと連携した職業教育の充実

2

企業支援、安定した雇用が地域を興す!

雇用の維持・創出、高速通信網を活用した移住・定住の促進

3

実効性のある少子化対策、持続可能な社会保障制度の構築に向けて!

社会保険・社会政策・社会福祉の再構築、健康寿命の延伸、エイジレス社会の構築

4

とやまブランドを世界へ発信!

農林水産業の振興、交流人口の拡大、静脈産業技術の輸出

5

生命、財産を守り、産業を支える社会資本の整備!

防災・減災対策、産業基盤の動脈である道路整備



自由民主党公認

上田 英俊

「56歳」

うえだ えいしゅん

上田 英俊 プロフィール

- 入善町入膳で理容業を営む父・辰三と母・千恵の長男として生まれる。
- 入善小、入善中、魚津高校、早稲田大学政治経済学部卒業。
- 中学時代は野球部、高校時代は「紅」の応援団、大学時代は政治家を数多く輩出した雄弁会に所属。
- 学生時代は東京永田町の綿貫民輔代議士の事務所で3年間政治の現場を学び、大学卒業後平成2年～5年まで長勢甚遠代議士の公設秘書として働き、永田町霞ヶ関を走り回る。
- 平成11年、富山県議会議員選挙初当選。6期22年。

経歴

県議会農林水産副委員長、厚生環境委員長、副議長、議長
自由民主党富山県支部連合会青年部長、青年局長、政務調査会長、幹事長

資格

社会保険労務士

令和3年10月31日執行
 富山県第3区 衆議院小選挙区選出議員選挙公報
 富山県選挙管理委員会

何より、だから、政権交代 いのち。

私は、市民と野党の代表として、政権交代を実現し、新しい政権を支えます。多様性が尊重される社会を、ご一緒にきりひらきましょう。

自公政治を変える4つのチェンジ

1. いのちと暮らし最優先に

- 医療・公衆衛生予算を倍増、医師や保健所を増やす
- 医療、介護、保育などケア労働者の待遇改善
- 中小企業支援と一体に、最低賃金を時給1,500円に
- 消費税を5%に ●大学の学費半額、入学金の廃止

2. 気候危機打開へ CO₂の60%削減を

- 原発、石炭火力発電をやめ、自然・再生可能エネルギーの普及で、地域を元気に、雇用を増やす

3. ジェンダー平等、性差別なくす

- 男女賃金格差を是正 ●性暴力の根絶
- 選択的夫婦別姓制度の実現 ●LGBT平等法の制定

4. 憲法9条生かした平和外交を

- 辺野古新基地建設中止 ●核兵器禁止条約の署名・批准
- 中国の国際法違反に毅然と対応。軍事ではなく話し合いで

コロナ対策

- ワクチンと一体に大規模なPCR検査を
- 一人十数万円の「暮らし応援給付金」を

米価回復

- 国が米を買い取り、困窮世帯へ支給を
- ミニマムアクセス米の輸入中止を



日本共産党 坂本ひろし 五二歳

党県書記長。党県コロナ対策本部長として、県内各地を奔走。3人の子の父、射水市在住。

新しい時代を皆さんとともに。

地方から始まる、新しい国のかたち。

とやま呉西圏域の連携中枢都市圏の推進
 特色のある地域づくり

活力のある人・産業づくり

安全・安心の国づくり

- 安心して暮らせる福祉の充実
- 国際社会で信頼される日本づくり
 (安心できる外交と安全保障)
- 新型コロナウイルス対策の推進
 (ワクチン接種)
- 次代を担う子ども達を育む教育の充実
- 持続可能な農林水産業の振興
- 地方の特色を生かし、若者が自己実現できる新産業の育成
- 北陸新幹線の活用と早期延伸
- 東海北陸自動車道の四車線化・能越自動車道の早期整備
- 国による二元管理
- 特色ある地域文化・伝統美術の振興

プロフィール 1961年1月23日 高岡市生まれ 守山小学校、志貴野中学校、高岡高校卒業

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1984年 3月 東京大学法学部卒業 | 2012年 12月 第46回衆議院議員選挙2期目当選 |
| 1984年 4月 北海道開発庁入庁 | 2012年 12月 第二次安倍内閣総務大臣政務官就任 |
| 1989年 6月 ケンブリッジ大学大学院修士課程修了 | 2014年 12月 第47回衆議院議員選挙3期目当選 |
| 1991年 4月 北海道開発庁企画室開発専門官 | 2015年 10月 自由民主党政務調査会総務部会長(1回目) |
| 1995年 9月 伏木海陸運送(株) 代表取締役社長 | 2016年 8月 第三次安倍第二次改造内閣復興副大臣就任 |
| 2001年 6月 (社)富山県経営者協会副会長 | 2017年 10月 第48回衆議院議員選挙4期目当選 |
| 2003年 3月 高岡商工会議所副会頭 | 2018年 10月 第四次安倍改造内閣復興副大臣就任 |
| 2004年 5月 高岡市長(～2009年6月) | 2019年 10月 衆議院文部科学委員長就任 |
| 2009年 8月 第45回衆議院議員選挙初当選 | 2020年 10月 自由民主党政務調査会総務部会長(2回目) |
| 2009年 10月 自由民主党富山県第三選挙区支部支部長就任 | |

比例代表も 自民党へ



坂本ひろし 総選挙動画集



坂本ひろし 検索



比例代表 は 日本共産党 とお書きください



自民党公認

慶二 たちばな (60歳)